

都数研会報

東京都高等学校数学教育研究会
事務局 都立田園調布高等学校
事務局長 吉 田 亘
発行所 都立昭和高等学校内
編集発行人 萩 原 聡
都数研HP <http://tosuiken.jp/>

平成 27 年度総会

平成 27 年度総会が、平成 27 年 5 月 23 日(土)13:30 から、都立青山高等学校にて行われた。

開式の辞・会長あいさつに始まり、議事の流れは下記の通りであった。

- 1 平成 26 年度事業報告
- 2 平成 26 年度決算および監査報告
- 3 平成 27 年度 役員選出(顧問参与の承認を含む)
平成 27 年度 会長あいさつ
- 4 平成 27 年度事業計画
- 5 平成 27 年度予算
- 6 平成 27 年度役員・理事

議事は全て承認された。主な役員は以下のとおり。

会 長 下條 隆史(立川高・校長)
副 会 長 吉田 亘(田園調布高・校長)
北原都美子(啓明学園・校長)
事務局 長 吉田 亘(田園調布高・校長)
事務局次長 藤田 泉(葛飾野高・校長)
石崎 規生(総合工科高・校長)
宇佐美俊哉(保谷高)

研究部長 真保 俊哉(神代高・校長)
研究副部長 柴田 誠(大泉中高・校長)
竹村 恭一(板橋有徳高・校長)
臼田三知永(小松川高・校長)
定通部長 川澄 秀一(第三商業高・定時副校長)
編集部長 萩原 聡(昭和 high・校長)
編集副部長 加藤 竜吾(東村山高・副校長)
水本 香(翔陽高・副校長)
奥村 英夫(世田谷泉・定時副校長)
大島和華子(神代高・定時副校長)
監 査 坂本 憲二(駒場高・校長)
宮下 義弘(大泉桜高・校長)
梅原 章司(清瀬高・校長)

連携研修特別委員会

委 員 長 宮下 義弘(練馬工高・校長)

70 周年記念行事

委 員 長 吉田 亘(田園調布高・校長)

総会終了後、高校数学特別委員会、各分科会、編集部より報告、その後、芝浦工業大学の牧下英世准教授による講演が行われた。(次頁に続く)

文責 編集部 庄司環奈(千早高) 平澤陽子(日本橋高)

会長挨拶

会長 下條隆史(立川高・校長)



会長として、3年目となりました。この間、会員皆様の様々なご支援とご協力、誠にありがとうございました。

現在、都数研の会員は、国立・私立・都立の高校の先生方が中心ですが、中学校の先生、大学関係者、教科書並び企業関係者の方も合わせると 150 名を超えています。思いおこせば数年前、会員数が少なかった頃からすると、都数研の活動に元気が復活してきた感があります。これも、会員皆様の努力の賜物だと感謝しています。

中教審などから様々な答申が提出されています。現在、21 世型スキル、大学入試改革、主体的活動、思考力・判断力・表現力などのキーワードがあふれていますが、地に足をしっかり付けて、今後、私たちは数学の必要性和大切さを一層教育の中で実現するように努めていきたいと思ひます。

今年度の総会で決まった予算について、昨年同様、主に以下の 3 点です。

今年度の総会で決まった予算について、昨年同様、主に以下の 3 点です。

①研究活動費について

各分科会及び編集部の活動費を 1 万円減額させていただいて 2 万円(昨年度 3 万円)といたしました。

②大会参加援助費について

全国算数・数学教育研究大会や関東都県算数・数学教育研究大会などの参加にあたり、都数研からこれらの大会の発表、司会や助言者などを依頼しています。都数研としてお願いしている参加者に補助金を支給いたします。

③70 周年式典事業基金について

平成 28 年には都数研は 70 周年を迎えます。式典準備金及び式典費用として、昨年度と合わせて 50 万円を基金としました。

さて、日数教の 100 周年事業が平成 30 年に東京で開催することになっています。3 年後のことですが、都数研も主催団体として関わることになりました。会員の皆様のご協力が必要となりますので、よろしくお願ひいたします。